

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
編集者 山崎 隆夫
印刷所 東京 千代田区西神田 2-7-29 32
電話 2426-2932
東京 千代田区西神田 2-7-29 32
電話 2426-2932
東京 千代田区西神田 2-7-29 32
電話 2426-2932

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育に極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力し、ついで教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務である。
(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

文部省に増額を陳情



中島文部大臣あての陳情書を提出し、趣旨を説明 (8月1日)

修学旅行費等の補助金について

全修協・三地区修旅連が

財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(成石昌蔵会長・川越市立川越第一中学校校長)では、昭和六十四年度の要保護・進歩保護家庭の児童生徒、並びにへき地の児童生徒を支援対象とする修学旅行費等の国庫補助金の増額について、八月一日文部省を訪れ、担当課を通じて中島文部大臣あての陳情書を提出し、この件に関して特段の配慮を要請した。

これは各省庁の来年度予算の概算要求期に合せ、経済的に恵まれていない児童生徒や、交通費の比重がかさむへき地の児童生徒が、教育の機会均等の上からも、楽しい修学旅行や遠征に全員参加できるように、国の予算からの強力なバックアップを期待して行われるもので、全修協、三地区修学旅行連合委員会の重要な年間活動の一つである。当日は全修協からは前田事務局長、中島事務局長次長、系賀修学旅行部長と、三地区修学旅行連合委員会から成石昌蔵会長、山口明連運委員長(運田市立運田中学校校長)が文部省教育助成局財務課を訪れ、遠山耕平課長、井上明夫就学奨励係長と面会し、陳情書を提出した。

人気「ひかり」から修学旅行締め出し

JR東海の64年度方針に見直しを要望

財団法人全国修学旅行研究協会は、東海旅客鉄道株式会社(以下JR東海)が打ち出した「東京駅発着のひかり号から修学旅行生を締め出す」との方針に対し、本部から前田事務局長以下四名がJR東海の営業本部を訪れ、山本理事長名の要望書を提出してこの撤回を強く求めた。

七月十三日付の日本経済新聞に、東海旅客鉄道株式会社が打ち出した「東京駅発着のひかり号から修学旅行生を締め出す」との方針として、「東海道新幹線で特に混雑が激しい東京駅午前中の毎時0分発のひかり号には、来年度は修学旅行生を乗せまい」との方針を打ち出した。この記事が掲載された。

このような措置が実施された場合、時間的に制約がきびしい修学旅行では、行程変更や見学個所の削減等の様々な支障が生じ、重要な教育活動である修学旅行の内容の低下を招き、ひいては教育監視とも受けとめざるを得ない結果ももたらされる。

修学旅行生の安全快適な輸送をめぐり、諸活動は本協会の使命の最たるものであり、以上のような措置は到底容認することのできないものである。そこで十九日、本部から前田事務局長、中島事務局長次長、系賀修学旅行部長、稲葉孝事長の四名がJR東海の営業本部を訪れ、山崎営業課長に山本理事長名の要望書を提出し、前記の方針の撤回について申



山崎課長は「この方針は昭和六十四年の原則的な考え方として出したもので、現在でも修学旅行に支障を来す個々の場合について善後策を講じており、JR東海一社のみで増発等ダイヤ改正は不可能で

入れを行った。山崎課長は「この方針は昭和六十四年の原則的な考え方として出したもので、現在でも修学旅行に支障を来す個々の場合について善後策を講じており、JR東海一社のみで増発等ダイヤ改正は不可能で

あるが、昭和六十五年の全国的ダイヤ改正によって、この事態の解消を計りたい」と、各JRの内部事情や、一般客の声を、このような方針を出したいきさつについての事情を述べた。

全修協としては、あくまでも教育活動である修学旅行重視の基本線に基づき、二年前から期日の確定している連合修学旅行専用列車の運行を最優先に、他の小口の修学旅行生の輸送についても、一般客に優先して扱うことを強く要望し、方針の撤回を求めた。これに対し山崎課長は、全修協の修学旅行に対する熱意を理解し、可能な限り事態の打開に努力する旨の全面的な協力を約束し、交渉を終えた。

64年度補助金要望額

- 昭和六十四年度補助金要望額はつぎのとおり(かっこ内は昭和六十三年度決定額)
 - 1 要保護・進歩保護家庭の児童生徒対象
 - ・修学旅行費
 - 中学校 四万三千三百円 (三万八千円)
 - 小学校 一万三千八百円 (二万二千八百円)
 - 2 進歩保護家庭の児童生徒対象
 - ・校外学習費
 - 中学校 宿泊を伴う場合 三千七百円(二千八百八十円)
 - 同 宿泊を伴わない場合 二千二百円(一千三百円)
 - 小学校 宿泊を伴う場合 二千七百円(一千八百八十円)
 - 同 宿泊を伴わない場合 一千五百円(七百四十円)

第一回運営委員会で年間計画を決定

近畿地区公立中修旅委

近畿地区公立中学校修学旅行委員会(土居克巳会長・西宮市立大社中学校校長)の本年度第一回運営委員会が七月十八日開かれ、年間活動計画が左記のとおり決定された。
○近畿地区研究発表会 一月二十日予定。会場 京都、発表校 滋賀県と京都府。
過去全国修学旅行研究大会(本年度を含めて第五回)中、近畿地区の発表は二回(第一回と第三回)実施してきたが、発表が三年目毎になり、毎年実施してほしいという参加者の声もあり、また六十四年度は近畿大会に当たっている。諸般の事情を考慮し、積み重ねの上に立つた大会がより有意義であるという見地から本年度研究発表会を実施することになった。
○現地研修 八月十九、二十

第三回 全修協修学旅行セミナー

9月9・10日 箱根で開催

全修協は昭和六十一年度から独自の研究活動として修学旅行研究協議会を開催し、修学旅行の今日的課題をメインテーマに据え、学識経験者を講師に招いて研修を深めてきました。今回この研究活動の一段の充実を期し、文部省の後援(申請中)を求めて、名称も「全修協修学旅行セミナー」と変え、装いも新たなことに第三回目を開催することにしました。ここにその要項をお知らせします。

- 1 主催 財団法人全国修学旅行研究協会
- 2 後援 文部省(申請中)
- 3 期日 昭和六十三年九月九日(金)・十日(土)
- 4 会場 箱根小涌園
- 5 テーマ 修学旅行の基本的問題とその今日的課題の究明
- 6 講演 管理から自主へ、こどもの生かし方(校則をめぐって) 筑波大学教授 加藤 隆勝氏
- 7 研究協議 財団法人全国修学旅行研究協会
- 8 基調提案 旅行部長系賀孝一
- 9 問題提起 同大阪事務局修学旅行部長北條直樹
- 10 研究討議

風紋

一年のうちで最も華やか、季節、夏、人も街もとびきり着飾り輝きを増す。そこには、はかない季節の愛しさも込められている。日本の夏は各地の夏祭り、彩られる。祭は技を競い、力を競い、華やかさを競ったりする。勝ち負けでなく、全力を出して競う、その姿が人々を魅了してやまない。飛び散る汗、歓声、さわめき、時を追うごとに熱を帯びるお囃子に人々の踊りも次第に盛り上がる。日常を焼き尽くすほどの熱で乱舞の渦が広がる。いかにその姿のままに今に伝えられるか。古式ゆかしき雅やかな雰囲気の中、日本の伝統は確かな鼓動をもたせて息づいている。望郷の念にかられ、故郷を思う懐かしさが、一年に一度の里帰りをさそふ。町や村が守り続けてきた伝統は、家族の温かきおもていで、父や母と祖先と心を通じ語り合う団圓がある。困窮裏に幸が鳥賊がこんやくがにおう人を魅了する不思議な響きをもつ祭り、イベントとか言う新しい形の祭りが澎湃として各地に企画されつつある。伝統とそれを打ち破ろうとする力、不易と流行と置き換えられるか。祭りの起源は、それぞれその地によって異なるであろう。いや、一にすべきものか。自然と歴史に翻弄された土地、戦で焼土となった地、そこに生きる草木があるように、遅く生き抜いてきた人々が、その町のその村の喜怒哀楽を如実に見せてくれる。笛や太鼓の音、たまたしいかけ声が全国の町や村に一刻のバイタリティーと活性化をもたらす。そして秋へ移行する。

信頼される旅づくり

先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません！」

生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。
先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあいが、よき思い出としてひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト 本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111他 支店/国内242ヵ所(登録)/海外13ヵ所
©運輸大臣登録一般旅行業第20号

生徒指導と特別活動・修学旅行

54

Q 昨年十二月の教育課程審議会の答申は、国際社会の中で積極的に貢献する日本人の育成を強調しています。このことに関連が深い海外修学旅行について、国内の場合と比較して特に留意すべき事項についてお教え下さい。

A 1、海外修学旅行の目的を明確にする

国内修学旅行と異なって、海外修学旅行は我が国を離れての修学旅行であるだけに、前者だけでは達成できない目的があることを確認し、また明確にすることが大切である。

修学旅行 Q & A

海外修学旅行を 実施する場合の 留意点について

の精神を養うことも重要である。

ウ、臨教審第三次答申

○国際社会に通用する日本人として、主体性を確立し、自らを相対化する態度と能力が要求される。

○すなわち、日本文化について深い素養をもち、しかも日本の在り方を相対化して、自らをらせん型に深めかつ高める視点が大切である。

エ、教課審の答申から

○これからの学校教育においては、諸外国の人々の生活や文化を理解、尊重することも、我が国の文化と伝統を大

切にする態度の育成を重視する必要がある。

○諸外国の文化への理解を深め、世界と日本人とのかわりに関心をもち、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任感を醸成することに配慮したい。

このような趣旨を十分に把握した上で、各学校や地域の

実態に基づき、小学校修学旅行の目的及び中学校の各学年ごとの旅行の行事等のねらいとの関連をふまえ、それらの発展したかたちで、海外修学旅行の目的を設定することが

3、実施計画について

返しの検討を 一般的に、目的地や旅行の経路・交通手段などは、実施計画の内容として実際の旅行期日の二年前ほど前に決定されることが多い。しかし一方、旅行先の相手の国は、国情や

4、安全や健康の確保について

海外修学旅行は、我が国とは環境や風俗・習慣、保健衛生、交通事情、通信連絡体制、更に医療体制等の異なる地への旅行であるだけに、特に次の諸点に留意する必要がある。

(1)海外を集団で行動すること等に伴い、常に事故等の発生に備え、常に事故等の発生を再認識する必要があること。

(2)このような観点からして、国内修学旅行では好ましい形態として積極的に行われているグループによる自主見学行動については、その可能性を十分に検討し、国内のそれとは一線を画することとし、たとえば、行動範囲をごく狭く限定することなど、実施については慎重な配慮が必要であること。

(3)事前の実地調査を含め、引率体制の充実、万一の事故発生等緊急時の連絡体制や医療体制等の点検等を必ず実施しておくこと。

(4)生徒の安全や健康の保持の上から、無理なく適切に実施できる内容でなければならぬこと。

(5)たとえば以上のことを、関係機関や旅行者に過度に依存することなく、学校が主体性をもって行うこと。

京都で国体開催

国民体育大会は、昭和二十一年京都で開催以来全国を一年一度巡回し、今年第四十三回を迎える。二巡回目は再び京都にもどり、「新しい歴史に向かって走ろう」をスローガンに「京都国体が開催される。夏季大会は九月四日から七日まで、秋季大会は十月十五

修学旅行生が死亡

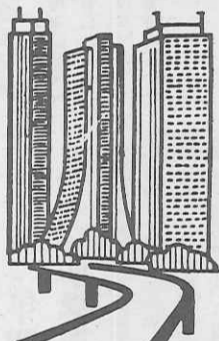
事故防止に 万全の対策を

七月三十一日、長野県白樺

文部省教科調査官 高橋 哲夫

湖の宿舎で、修学旅行中の愛媛県立高校二年の生徒一名が、五階屋根から転落死した。夕食後の入浴時間待たず、非常口から出たことであるが、非常口は内部から施錠するのではなく、安全管理の一つの盲点だが、そこをみだりに外へ出ることを厳禁しなければならぬ。また、あるホテルの話では、他の階への勝手な移動を防止するため、部屋備付の非常口を一時撤去するよう引率者から求められたことがある。このことだが、安全対策を最優先し、旅行中の事故の絶滅を期して生徒指導の徹底を図るべきである。 九月一日は防災の日。船の衝突・沈没、高速道トンネル内での火災、落石、食中毒、さらには群衆地震など、この夏もいつ修学旅行が遭遇するかわからない災害が、日本のあちこちで発生している。事故を未然に防ぐことはもちろんだが、万一事故が起きても、迅速、適切な措置が取れるよう、学校も、交通機関も、宿舎も、食事・見学関係者も、旅行者も、常に心がけてい

首都東京を見て、何かを!



学校単位の貸切りでご利用下さい 30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容 本郷の旅館へ 本郷旅館協同組合 〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

大阪・神戸 直行便 別府さんふらわあ



大阪南港 19.00発 8.20着 神戸中突堤 20.30発 6.50着 別府 8.00着 19.20発 修学旅行に 貸切専用外航純客船 さんふらわあ7も ご利用ください。

とびだせ自然へ 緑の箱根へ



箱根高原ホテル 〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 電話0460-4-8595(代表)

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい 修学旅行の一夜をお過ごし下さい。



そのほか 冬期はスキー教室 夏期は林間学校 奥日光高原ホテル 〒321-16 日光市湯元2549-6 (TEL) 0288-62-2121代表

豊かな自然と、科学の調和



見て、触れて、試す体験の旅

体験学習のご案内 ●地曳網 ●潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー ●本田技研鈴鹿製作所工場見学 ●エンジン教室 お問い合わせ・お申し込みは 鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎(0593)78-1111